

柏崎市長 櫻井 雅浩 様

## 要 望 書

柏崎サッカー協会  
会長 植木 正一

### 【要望事項】

- ナイター照明付き、人工芝グラウンド施設の設置
  - ・ 正規の縦10.5m横6.8mのコートとその周りに最低3mのコート
  - ・ 小中学生が、通いやすい市内の場所が良い。普段の練習に重点的に行う。

### 【要望理由】

- ◇柏崎市のサッカー登録チーム数
  - ・ 小学生 10 チーム約 500 人・中学生 4 チーム約 150 人・高校 6 チーム約 150 人・大学 2 チーム約 40 人・県社会人 1 チーム約 20 人
  - ・ 市内社会 6 チーム約 120 人・小学生 P T A チーム 6 チーム・シニアチーム 3 チーム
  - ・ 北信越フットサル 1 チーム
- ①現在どの大会もほぼ人工芝か天然芝での開催となってきた。今年度、小中高生で県内ベスト8の結果を出している。選手強化面で、大会とほぼ同様のコートで、より質の高い練習を進めることで、県大会優勝の悲願を達成したい。
- ②少年広場は、小学生の正規のコートがとれないため、練習試合を実施することができない。また、照明が暗いため、やや安全性に欠ける。そこで、正規の縦10.5m横6.8mのコートとその周りに最低3mのコートを設置することで、小学生は2チーム合同可能となる。また、中学生以上はより良い練習環境が確保でき、成果が期待できる。
- ③屋外スポーツサッカーでは、天候によりグラウンド状況が左右する。人工芝の設置により、降雨の場合でも練習や試合が実施できることは、選手や保護者、練習や大会を主催するものにとって、練習・試合の時間や会場の確保など、大変有効なことである。
- ④人工芝化により、利用者の転倒時の大きなけがの予防にもなり、安全性が確保できる。
- ⑤ナイター照明施設を設置することで、平日の利用者は、現在約30人から約400人にも増え、サッカーの普及や強化に直結する。夏場の平日の佐藤池サッカー場利用者は、午後7時までが限度あり、週1回1面30人ほどである。特に、社会人は、仕事後に練習が可能になり、利用者の倍増が期待できる。

